

大船渡市 消防団だより

令和8年 3月23日発行 第34号



- P2 消防団長年頭挨拶
- P3 令和8年大船渡市消防出初式
- P4 大船渡市大規模林野火災消防団活動
- P5 女性消防団員の活動
- P6 防災功労者表彰受賞
- P7 機能別消防団員制度のご紹介
- P8 消防団員募集



2025年度全国統一防火標語 『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

編集・発行 大船渡市消防団 大船渡市盛町字下館下35-1 TEL:0192-27-2119
大船渡地区消防組合ホームページ <http://www.fd-ofunato.jp/>

消防団公式X



消防団長年頭挨拶

大船渡市消防団消防団長 大田昌広



令和8年の新春を迎え、市民の皆様にご挨拶申し上げます。

大船渡市消防出初式におきましては、伊藤市議会議長様をはじめ、ご来賓の皆様には、ご多忙のところご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、本年の消防出初式におきましては、昨秋以降、市内で熊の出没が相次ぎ、まとい振りやラッパ吹奏の訓練に必要な屋外場所や駐車場の確保が困難となったことから、安全を最優先に考慮し、誠にやむを得ず、例年実施している分列行進を中止いたしました。苦渋の判断ではありましたが、そのような中にもあっても、団員一人ひとりが高い規律と責任感をもって準備に臨んでくれたことに、心から敬意を表する次第であります。

昨年を振り返りますと、2月に発生した大規模林野火災は、

当市にとって極めて重大な災害となりました。強風と乾燥という厳しい条件下において、消防団員は昼夜を分かたず、長距離中継送水や困難な地形での消火・警戒活動に尽力し、被害の拡大防止に大きく貢献いたしました。改めて、団員の使命感と結束力、そして「義勇愛郷」の精神の尊さを強く感じたところであります。

近年、自然災害は激甚化・頻発化しており、地域防災の要である消防団と常備消防、地域住民との連携は、これまで以上に重要となっております。東日本大震災の教訓を風化させることなく、訓練と検証を重ね、災害対応力の向上に努めてまいります。

結びに、本年が災害のない穏やかな1年となりますようご祈念申し上げますとともに、市民の皆様並びに消防団員とご家族のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

消防団幹部名簿

役職	氏名
消防団長	大田 昌広
副団長	佐々木 正人
副団長	千葉 繁規
副団長	小坪 智幸
本部長	菊地 正洋
副本部長	村上 卓志
第1分団長	佐々木 義行
第2分団長	栗村 一真
第3分団長	永澤 幸喜
第4分団長	紀室 学
第5分団長	藤原 淳
第6分団長	金野 貴浩
第7分団長	田村 清輝
第8分団長	吉田 秀樹
第9分団長	佐藤 雄
第10分団長	滝田 昇一
第11分団長	大上 豊明
第12分団長	木村 勉

新入団員名簿

所属	氏名	所属	氏名
団本部	佐藤 優子	7-1	千葉真之介
4-1	仁木 竜輝	7-1	村上 湧哉
4-1	本多 翔	7-1	金野 蓮
4-1	黄川田 諒海	7-1	小山 慶人
5-1	大澤 和史	8-1	菊田 唯斗
5-2	崎山 勝博	9-4	新沼 琉良
6-2	志田 一樹	10-2	川下 楓
6-2	森下 峻也	10-4	藤井 裕士
6-2	山口 雄大	10-4	大澤 仁
6-2	井原 眞生	12-1	千葉 大夢
6-2	佐々木 晴一		

合計 **21名** 入団

令和8年1月末 現在

～1年のあゆみ～

2025年 (令和7年)

- 4月 8日 大船渡市消防団幹部任命辞令書交付式
- 5月 1日 ラッパ隊辞令書交付式
- 6月 1日 消防ポンプ機関技術指導並びに巡回整備
- 6月10日 防災功労者消防庁長官表彰受賞
- 6月28日 大船渡市消防団幹部退職者送別会
- 8月 1日 岩手県消防学校消防団員専科教育
～3日 警防・機関科入校
- 9月17日 防災功労者内閣総理大臣表彰受賞
- 9月28日 気仙地区支部初任団員現地教養
- 10月 2日 まとい組辞令書交付式
- 10月 5日 大船渡市防災訓練・消防演習
- 11月 9日 秋季火災予防運動
～15日
- 11月16日 総合教養
- 12月 5日 岩手県消防学校消防団員幹部教育
～6日 指揮幹部科現場指揮課程入校

2026年 (令和8年) ※計画を含む

- 1月 4日 大船渡市消防出初式
- 1月27日 団本部夜警視察 1回目
- 2月 8日 予防研修会
- 2月10日 団本部夜警視察 2回目
- 2月26日 山火事予防運動
- ～5月31日
- 3月 1日 春季火災予防運動
～7日
- 3月19日 令和7年度岩手県消防表彰式

令和8年大船渡市消防出初式

令和8年1月4日(日)、大船渡市消防出初式が挙行され来賓や一般参観者を含め約450人が出席しました。今年は、リアスホールで式典のみが行われ、湊上市長より年頭挨拶、鈴木消防長年頭挨拶、大田消防団長年頭訓示、そして、伊藤市議会議長、千葉県議会議員よりご祝辞を頂きました。

続いて、昨年2月に相次いだ林野火災において避難誘導や消火活動に尽力した分団、無火災分団、まとい組員功労を表彰しました。

さらに、発災当初から継続的な支援を行い、地域防災の推進に多大な貢献をなされました、社会福祉法人成仁会様、綾里漁業協同組合様に大田消防団長から感謝状が贈呈されました。(綾里漁業協同組合様は都合により欠席)最後に、まとい振りとともに藤枝副市長の音頭を合図に三本締めを行い、無火災に加え、自然災害から市民が守られるよう祈願しました。

大船渡市長表彰

- 功労証表彰
 - ・第4分団・第5分団
 - ・第6分団・第10分団
 - ・第11分団
- 4期間無火災達成
 - ・第5分団
- 3期間無火災達成
 - ・第7分団
- 2期間無火災達成
 - ・第2分団・第6分団

消防団長表彰

- まとい組員功労証
 - ・第2分団 団員 山口 和央

消防団長感謝状

- 社会福祉法人 成仁会様
- 綾里漁業協同組合様



↑消防団長感謝状 社会福祉法人 成仁会様

市防災訓練並びに消防演習

令和7年10月5日(日)に市防災訓練が市内全域で行われました。

防災訓練では沿岸分団による津波発生時の避難誘導訓練、山手分団では地震による建物火災を想定した吸放水訓練が実施され、災害に強い町づくりに取り組みました。

防災訓練終了後には、消防演習も開催され、湊上市長による特別点検を実施し、消防団員の職務遂行に必要な服装及び姿勢を確認するとともに、消防団員の品位向上を図りました。

また、大船渡市定例表彰のほか、林野火災における内閣総理大臣および消防庁長官からの防災功労者表彰の伝達も行われました。



消防団総合教養

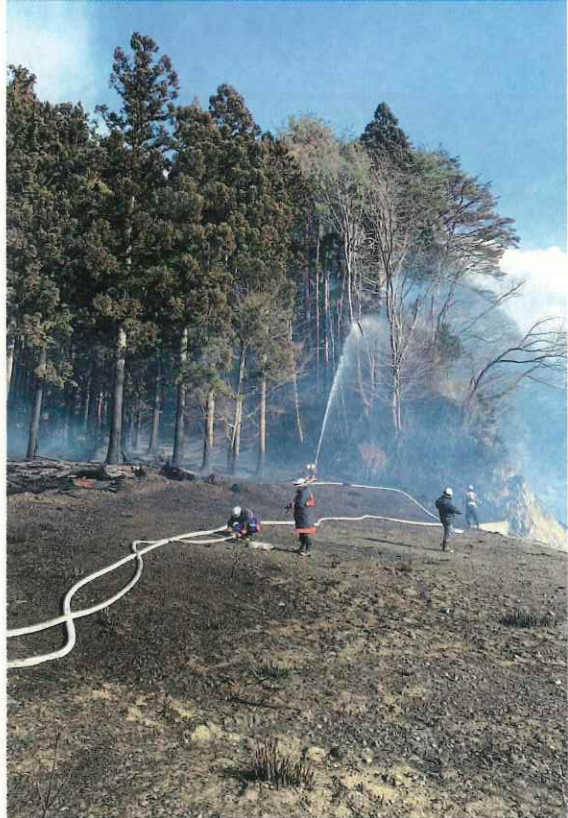
令和7年11月16日(日)に消防団総合教養が旧大船渡市立吉浜中学校及び白木沢川で行われました。

全分団の部長・班長・団員(機関員)を対象に安全管理を主眼とした現場指揮要領及び活動要領など、消防団活動に必要な知識及び技能を習得し、技術の向上に資することを目的として、安全管理、現場指揮要領、ブルーシートを使用した水利確保要領、長距離中継送水訓練を実施しました。

総勢104名の消防団員が同時に訓練することで垣根を越え情報共有を図りました。



大船渡市大規模林野火災消防団活動



令和7年2月26日（水）

に赤崎町合足地区で発生した大船渡市大規模林野火災は、強風と乾燥した気象状況が重なったことにより、当市に死者1名の人的被害のほか、住家90戸、非住家136戸の建物被害を含む3,370haを焼損する甚大な被害をもたらしました。

大船渡市消防団は、同年2月19日（水）に発生した三陸町綾里田浜地区の林野火災、同25日（火）に陸前高田市小友町地区で発生し、末崎町作沢地区まで延焼した林野火災と連日発生する林野火災対応下での活動となりました。

発災当日は、大船渡市立綾里小学校で岩手県消防相互応援隊の指揮下において消防団指揮所を展開し、赤崎町合足地区に2個分団、三陸町綾里地区に9個分団を配置し、避難誘導のほか、

消防署隊と共に夜を徹しての消火活動にあたりました。

また、火勢が消防団員の活動能力を上回る規模に拡大し、全国消防緊急援助隊やヘリコプターによる空中消火でなければ対応が困難な状況となったため、消防団の活動は縮小を余儀なくされましたが、被害状況の情報収集、夜間の見回り、熱源確認や残火処理にも携わり、2月26日以降、約1,300名もの消防団員が活動にあたりました。

この一連の活動は、総務省消防庁及び林野庁共催の「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」において、大船渡市消防団から参加した大田消防団長が消防団活動についてフィードバックしたことにより、全国の林野火災対策の推進に貢献しました。





女性消防団員の活動



女性消防団員北上研修

女性消防団員の更なる活動活発化を図るため、令和7年11月30日（日）に女性消防団員2名が北上市消防団女性消防隊「北上さくら隊」への研修視察を実施しました。

当日は、双方の活動状況の説明や意見交換を通じ、当市との活動内容の違いや、女性消防団員入団促進の取り組み等に触れ、刺激を受けるとともに、学びの多い有意義な時間となりました。

今回の研修視察を通し、女性消防団員の活躍の場が更に広がることを期待されます。



防災フェア

令和7年9月7日（日）に開催された「おおふなと防災フェア」では、応急手当普及員の資格を持つ女性消防団員2名が心肺蘇生ブースを担当し、多くの来場者に胸骨圧迫やAEDの使い方を丁寧に指導しました。

来場者数は前年を大きく上回る745名に達し、家族連れや若い世代の参加も目立ちました。心肺蘇生ブースには途切れることなく人が訪れ、実技体験を通じて「いざという時に行動できる力」を身につけようと真剣に取り組む姿が見られました。地域の防災意識向上に大きく貢献する充実した催しとなりました。



◀指導する木下団員



説明する伊藤団員▶

綾里夏まつり警備

令和7年8月14日（木）に開催された綾里夏まつりにおいて、女性消防団員2名が救護班として警備に参加しました。来場者への声掛けや体調不良時の体制を整え、祭りの安全確保に努めました。



防災訓練

令和7年10月5日（日）に実施された大船渡市防災訓練にて、女性消防団員2名が住民の皆さんに心肺蘇生の実技指導を行いました。分かりやすい説明と実践を通じ、命を守る大切さを伝えました。



▶熱心に指導を行う熊上団員と中嶋団員

防災功労者表彰受賞

内閣総理大臣表彰・消防庁長官表彰の同時受賞

このたび、大船渡市消防団は、令和7年2月に発生した大船渡市大規模林野火災における活動が高く評価され、令和7年9月に防災功労者内閣総理大臣表彰及び令和7年6月に防災功労者消防庁長官表彰を受賞しました。

同火災では、強風と急峻な地形という極めて厳しい条件の中、火勢が急速に拡大し、地域全体が緊迫した状況となりました。消防職員・消防団員が一丸となって消火・警戒活動にあたるとともに、自衛隊、警察をはじめとする関係機関、地域住民の皆様が多大なご支援とご協力により、被害を最小限に抑えることができました。

今回の両表彰は、消防団員一人ひとりの献身的な活動はもとより、関係機関との連携、そして地域の皆様との強い絆によって成し遂げられたものであり、決して消防団のみの功績ではありません。

大船渡市消防団では、これらの受賞を励みとし、今後も訓練や防災活動を重ね、地域防災力のさらなる向上に努めてまいります。引き続き、市民の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



令和7年6月10日(火)、消防庁長官表彰式で代表謝辞を述べる大田消防団長



令和7年9月26日(金)、大船渡市役所を訪問し、渕上市市長へ防災功労者表彰受賞を報告

防火防災作文コンクール 優秀賞受賞

全国の中学生を対象に行われた、令和7年度「防火防災に関する」作文コンクールで、大船渡市立第一中学校2年の千葉りんかさんが、全国優秀賞を受賞しました。

このコンクールは、「皆さんとともに、地域を守る消防団」をテーマに、毎年実施されている全国規模のもので、今年度は、各都道府県から選ばれた42作品の中から、わずか3名が優秀賞に選ばれました。

千葉さんの作文は、地域で活動する消防団の姿や、防火防災の大切さを自分の言葉で丁寧に表現しており、審査員から高い評価を受けました。

次代を担う若い世代が防災について考え、行動につなげていることは、地域にとって大きな力となります。



令和7年12月16日(火)、大船渡市立第一中学校で伝達式が行われ、鈴木消防長（大船渡地区消防組合消防本部）から賞状と記念品が贈られました。

令和6年度大船渡市消防団幹部退職者送別会

令和7年6月28日(土)まるしちざ・プレイスを会場に「令和6年度大船渡市消防団幹部退職者送別会」を開催しました。長年にわたり消防団活動に尽力され、このたび退職された消防団幹部の皆様に対し、大田消防団長から感謝状及び花束が贈呈されました。これまで地域防災の最前線で果たしてこられた多大な功績に対し、深い敬意と感謝の意を表するとともに、長年にわたるご尽力の労を労う場となりました。



令和6年度消防団幹部退職者

- 前副団長 菅野 優 様
- 前第1分団長 伊勢 徳雄 様
- 前第9分団長 新沼 豊隆 様
- 前第11分団長 窪田 将浩 様



地域を守る新しいかたち

機能別消防団員制度のご紹介

《機能別消防団員制度とは?》

人口減少やライフスタイルの多様化により、消防団員の確保は全国的な課題となっています。大船渡市消防団では、地域防災力を将来にわたり維持・強化するため、令和7年10月から「機能別消防団員制度」を導入しました。この制度は、災害対応の即戦力となる人材に加え、広報や行事支援など多様な形で消防団活動を支える人材を幅広く受け入れるものです。

《機能別消防団員の区分(種類)は2つ》

① 災害活動団員

火災、風水害、地震、津波などの災害発生時に、消防団の災害対応活動を支援します。

消防団員または消防職員として5年以上の経験を有する方を対象とし、即戦力としての活躍が期待されます。



② 活動支援団員

広報活動、火災予防の啓発、消防団行事の支援などを担います。

希望する活動を選択でき、「できる時に、できることを」というスタンスで参加できます。ラッパ隊やまとい組としての活動も可能です。



《応募資格と参加しやすさ》

機能別消防団員は、18歳以上で大船渡市内に在住または勤務している方が対象です。心身ともに健康で、地域を守りたいという意欲があれば、性別や職業を問わず応募できます。特に活動支援団員は、「できる時に、できることを」という考え方が基本となっており、仕事や家庭と両立しながらの参加が可能です。



《あなたの力を地域の安全へ》

「これまでの経験を生かしたい」「裏方として支えたい」「伝統ある活動に関わりたい」その思いが、地域の安心につながります。機能別消防団員制度は、そうした思いを形にするための新しい一歩です。大船渡市消防団では、地域を思う皆さんの参加を心からお待ちしています。

機能別消防団員制度は、多様な人材がそれぞれの立場で防災に関わる新しい仕組みです。あなたの経験や思いを、地域の安心・安全のために生かしてみませんか。



《機能別消防団員制度》についてお問い合わせは
大船渡消防署・消防団係 TEL: **0192-27-3591**

お気軽にご連絡ください!入団のご相談心よりお待ちしております!

消防団員募集

～故郷を思う誇りを胸に～

消防団は、「自らの地域は自ら守る」精神のもと消防防災活動を行い、私たちの暮らしには欠かせない重要な役割を担っています。

本業を持ちながら、消火・救助活動、避難誘導活動などの災害対応活動だけでなく、防火防災指導、応急手当の普及指導など地域に密着した啓発及び普及活動も行っています。

ご自身の生活スタイルや得意分野に合わせて活動に参加できる機能別消防団員も募集しています。

《問い合わせ先》

大船渡消防署消防団係 TEL.0192-27-3591



「消防団応援の店」募集中!

岩手県では、平成29年度から地域の安全・安心を守る消防団員を応援するため、「いわて消防団応援の店」制度を実施しています。本制度は、登録店舗において消防団員が特典や割引などのサービスを受けられるもので、消防団活動への理解と支援の輪を広げる取組です。

大船渡市でも下記の店舗が登録し、サービスを提供して頂いています。



大船渡市内の登録店舗

- 焼肉 韓国料理 かもめ商店 → 韓国のりサービス (1グループ1個)
- 居酒屋 成功丸 → ドリンク1杯無料 次回ドリンク1杯無料券配布
- pure space 月雫 → チャーム又はフライドポテトをサービス
- ファミリーマート大船渡中央通り店 → 700円以上の購入者ブレンドコーヒーS 1杯無料
- ファミリーマート宮の前店 → 700円以上の購入者ブレンドコーヒーS 1杯無料

登録をお考えの事業者の方は、大船渡消防署消防団係 TEL.0192-27-3591 までお問い合わせください。

令和7年火災件数

(2025年1月1日～12月31日)

建物火災	1件
林野火災	2件
車両火災	1件
船舶火災	0件
その他火災	0件
合計	4件

このたび、大船渡市で発生した大規模林野火災では、大船渡消防署をはじめ、消防団、自衛隊、防災航空隊、緊急消防援助隊、県内消防相互応援隊など、多くの関係機関が昼夜を問わず消火活動にあたりました。

地元消防団として、私たちも「自らの地域は自ら守る」という思いのもと、避難の呼びかけや誘導、消防隊との連携した消火、熱源確認、残火処理、夜間巡回、被害状況の把握などに従事しました。

今回の活動を通じ、地域のつながりと支え合いの大切さを改めて実感しています。今後も地域防災の中核として、住民の皆様へ寄り添う活動を続けてまいります。

編集後記